

兵 庫 県
保 險 医 協 会

加古川
高砂

支部ニュース

No. 233

2015年1月25日

発行

兵庫県保険医協会 加古川・高砂支部

(連絡先) 神戸市中央区海岸通一丁目三十一

神戸フコク生命海岸通ビル五階

電話〇七八(三九三)一八〇一

新年のごあいさつ

加古川・高砂支部

支部長 岡部 桂一郎

患者負担増を許さず社会保障拡充への転換を



新年明けましておめでとうござ

います。当協会諸活動にご理解、ご協力賜り厚く御礼を申し上げます。

加古川・高砂支部では、この1年間の活動として、支部総会企画としてポケットエコーの講演会、アイパッド等を用いた支部研究会、スタッフを対象とした接遇研修会など会員の要求にそった企画を行ってまいりました。本年も加古川・高砂支部のさらなる発展を願い努力して参りたいと存じます。

先生方は日々感じておられますように、医療をめぐる情勢は大変厳しいものがあります。政府は、①現在の3割負担にさらに定額負担を上積みする、②入院時の食事代負担を増やす、③漢方薬や風邪薬、湿布薬などを保険から外す、④高齢者の窓口

負担を引き上げる、⑤紹介状のない大病院受診は、特別料金を徴収する、など新しい患者負担増計画を厚労省や財務省の審議などで検討しており、誰でもどこでもいつでも安心して医療を受けられる国民皆保険を守る点からも到底容認できないものであります。

私たちは、診療報酬引き上げ、患者窓口負担の軽減など社会保障改善のため努力を尽くすとともに、社会保障優先の政治へと転換を強く求めて闘う決意です。

このような情勢の中、当支部の活動方針として、以下の点を主要課題として取り組みたいと考えております。

1、会員の要望をもとに、学術研究会や気軽に参加できる会員懇談会などを積極的に行う。また、在宅医療への取り組みや、医科歯科共通の研究会などを開催する。

2、保険請求や審査、指導・監査に関する情報交流や医院経営問題など、協会ならではの活動にいつそう力を注ぐ。

3、引き続き「接遇研修」「医療安全管理対策」に関する研究会

や講習会など、スタッフも含めた企画を引き続き開催する。

4、未入会員対策として、引き続き新規開業医および勤務医対策にも力をそそぐ。

5、加印社会保障推進協議会は、会長を引き受けている団体として一層努力する。特に医療制度問題では積極的な協力・共同をはかるとともに、「健康と医療について語り合う会」などを通じ、他団体との交流を強める。

6、日常診療に役立つ情報、地域の情報提供、さらには「会員さん紹介」などを企画し、会員相互のコミュニケーションを培う支部ニュース作りをめざす。

7、支部活動の基礎となる幹事会の充実のため、出席者の確保をふくめ改善をめざす。そのために会員の積極的な参加を促す。

最後に、支部活動は会員さんであれば、いつでもだれでも気軽にご参加いただけます。いろいろなアイデアや知恵をお貸し下さいますようお願いして、ごあいさつとさせていただきます。



「社会保障は国の責任で充実させるもの」との理念を確認

加印社保協が社会保障の拡充を求め行政と懇談

加印社会保障推進協議会(加印社保協)(会長・協会加古川・高砂支部長 岡部桂一郎先生)は、去年12月22日から25日にかけて、当地区2市2町(加古川市、高砂市、播磨町、稲美町)に対し、社会保障に関して、各行政担当者との懇談・交渉を行った。

この取り組みは兵庫県社会保障推進協議会が各市町に対し、医療・介護や年金、生活保護、さらには障害者対策など、社会保障全般にわたって一斉に要請活動を行っているもの。

当地区では事前にアンケートを実施、文書による要請を行い、その回答をもとに懇談を行っており、今回は特に国保、介護、生活保護(稲美町、播磨町を除く)に絞って懇談を実施した。

24日に持たれた加古川市との懇談は、市当局から担当責任者8人が、社保協から9人が参加、短時間ではあったが「社会保障は自助・相互扶助ではなく、

国民の権利であり、国の責任で充実させるもの」との理念を確認し、「高すぎる国保料」による滞納問題や差し押さえの現状

確認した。さらには資格証明の発行や「短期証」発行、「止め置き」問題などで交渉をおこなった。また、軽度の要介護者を切り捨てる国の介護保険改悪に対し、行政の対応をただした。

生活保護をめぐっては「住民の相談や訴えに積極的に寄り添う」ことを改めて要請、「門前払」を批判、改善を要求した。

翌25日には同様に高砂市でも22日には播磨町と稲美町でも実施された。



加古川市担当者(右)に改善要望を行う社保協参加者(左)

健康テレフォンサービス 2015年2月分

0120-979-451

- 月曜日 市販の点眼薬の正しい使い方
- 火曜日 子どもが「お腹が痛い」という時
- 水曜日 家庭血圧測定の重要性
- 木曜日 前立腺がんを早期発見しましょう
- 金土日 薬局で薬を買う時に気をつけたいこと

支部ニュースへの投稿を募集しています

支部ニュースへの投稿を募集しています。

日常診療にかかわることや、主張、趣味のお話などお寄せください。

電話 078-393-1803 FAX 078-393-1802

e-mail togo@doc-net.or.jp 担当：都甲・松村